

## 組立設置・取扱説明書

### お客様へ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本機の取り付けには専門の技術が必要となりますので、販売店や施工業者に依頼してください。組み立てるにあたり、手袋・プラスドライバー・スパナ等を別途ご用意ください。その他の準備品は「別途ご用意いただくもの」をご参照ください。

### 施工業者様へ

お客様の安全のため据置場所の強度には、本機の荷重に耐えるよう十分ご注意ください。

- 設置後は、この説明書と添付の取扱説明書および保証書を使用者（運用責任者）へお渡しください。



## DS-200

### もくじ

安全上のご注意	2~4
仕様	5
部品の確認	6~7
別途ご用意いただくもの	7
ねじ締付トルクについて	7
組立要領	8~13
保証書	13

- この組立設置説明書と取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用後は保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

## 安全上のご注意

### 安全のために、必ずお守りください。

本説明書ではお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



#### 警告

この表示の欄は、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。



#### 注意

この表示の欄は、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容を示しています。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。



#### 警告



##### 長期使用を考慮して設置場所の強度を確保する

長期使用により設置場所の強度が不足すると、本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



##### 不安定な場所で設置しない

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



##### 設置場所が決定したら、キャスターのストッパーを確実にかける

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



##### 移動時はキャスターのストッパーを確実に解除する

キャスターの破損、本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



##### 水平でない場所、段差があるなど不安定な場所での移動は行わない

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。

## 警告



### 設置作業は必ず二人以上で行う

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



### 本製品にぶら下がる、揺らす、もたれかかる、乗るなどしない

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



### ディスプレイの説明書と異なった設置条件では取り付けない

ディスプレイの故障、破損、本製品の転倒、及び破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



### ご使用前は、接続部及びねじ部に緩みが無いか再度確認する

ねじが緩んだままでのご使用は、本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



### 直射日光の当たる場所、及び高温多湿の場所で使用しない

変色や変形の原因となるだけでなく、搭載機器の故障、破損、本製品の転倒、及び破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



### 屋外で使用しない

変色や変形の原因となるだけでなく、搭載機器の故障、破損、本製品の転倒、及び破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



### ディスプレイを搭載したままの移動は、見通しが悪くなるため必ず二人以上で行い、周囲を十分確認する

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



### 設置後は、接続部及びねじ部に緩みが無いか定期点検をする

#### 緩んでいた場合は確実に締め付ける

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



### 修理が必要な場合は、直ちに使用をやめる

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。修理が必要な場合は、「テクニカルサポートセンター」まで連絡ください。

## 警告



棚板にぶら下がったり、乗ったり、棚板の搭載質量以上の負荷をかけない  
本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。  
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



地震など強い揺れを感じた場合は本製品に近づかない。  
本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。  
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



地震など強い揺れを感じた場合は本製品の背面側には近づかない。  
強い揺れが発生した場合、本製品はキャスターロックのない背面側に移動する可能性がありますので背面側には近づかないでください。



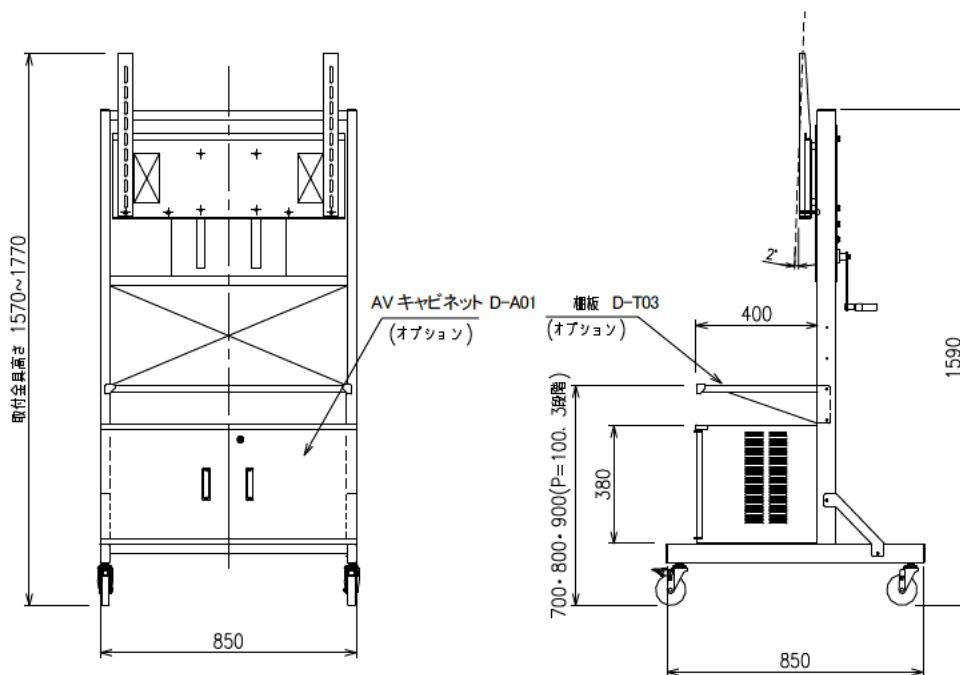
本製品脚部周辺に段差となるようなケーブル、カーペット等の障害物を置かない。  
本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。  
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



搭載質量以上のものを搭載しない  
本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。  
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。



# 仕様



型式	DS-200
塗装色	ホワイト
本体質量	約 48.0 kg
搭載質量	ディスプレイ取付部 : 75kg 以下/棚板部 : 10kg 以下/AV キャビネット部 : 20kg 以下
対応ディスプレイ	37 型~70 型 (W200~725mm、H200~445mm)
昇降機構	ハンドル昇降式(ストローク 200mm)
棚板取付高さ	700・800・900
ディスプレイ取付金具高さ	1570~1770
樹脂部材質	PE(角キャップ、配線口キャップ)、ウレタン(キャスター車輪)、PA(棚板保護キャップ)

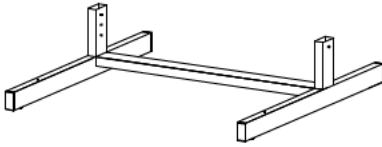


- ※ 搭載質量以上のものを搭載すると、転倒し、機器の破損、怪我をする恐れがあります。搭載物の質量を確認のうえ搭載してください。
- ※ 移動は引っ張らず、移動時保持位置を押して、ゆっくりと移動してください。
- ※ 不安定な場所での移動はしないでください。
- ※ ディスプレイを取り付ける前に、ディスプレイ端子部が本製品と重ならないか御確認ください。重なっていると、配線が困難になりディスプレイのご使用ができなくなります。

## 部品の確認

■組み立ての前に必ず確認ください。

スタンドベース×1



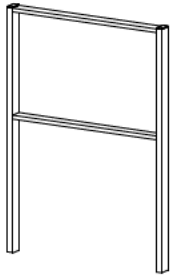
キャスター  
(ストッパー付) ×2



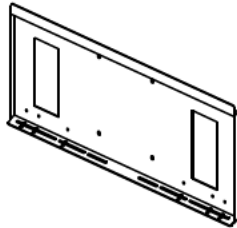
キャスター  
(ストッパー無) ×2



メインフレーム×1



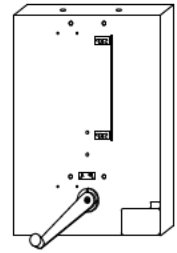
ブラケット ×1



ディスプレイ取付金具×2



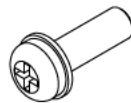
昇降ユニット×1



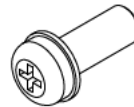
ばね座金 A ×4  
(呼び径 12)



ねじ A (M5×15) ×19  
(予備 1 本含む)



ねじ B (M6×15) ×2



六角ナット A (M6) ×2



六角ナット B ×4  
(M8)



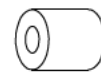
平座金 A ×4  
(呼び径 8)



ばね座金 B ×4  
(呼び径 8)



カラー ×4



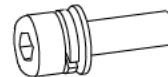
ねじ穴キャップ×4  
(φ20)



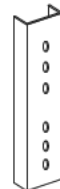
ねじ E (M6×65) ×2



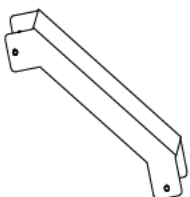
ねじ F (M6×15) ×4



ジョイント金具×2



補強金具×2



六角スパナ×1



● ねじセット (ディスプレイ取付用)

ねじ 各6



M4×18、M5×20、M6×30、M6×50、M8×25、M8×45、M8×50

六角ナット 各6  
(M4、M5、M6、M8)



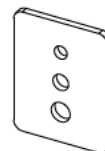
ばね座金 各6  
(呼び5、呼び8)



平座金 ×6  
(呼び8)



補助板 ×6

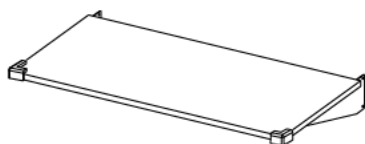


スペーサー ×8  
(φ21×12 孔φ8)

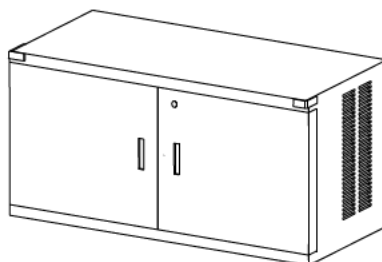


**オプション**

棚板 (D-T03)



AVキャビネット (D-A01)



転倒防止ワイヤー (DS-02P)



**別途ご用意いただくもの**

プラスドライバー /  スパナ (13番) /  カートンケース、毛布等の平らなクッション材 /  手袋  
 六角レンチセット

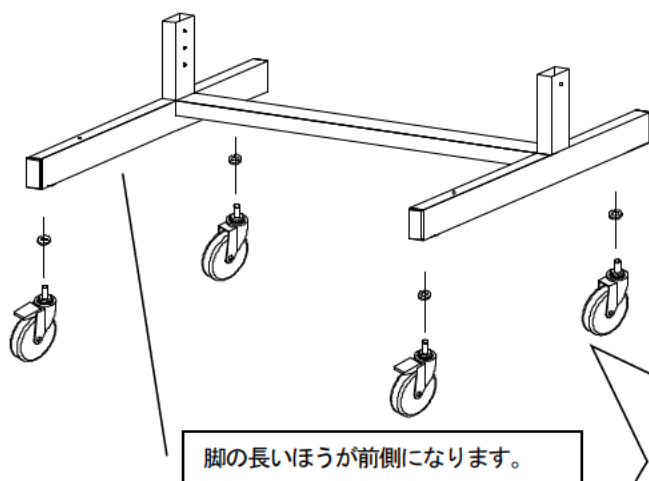
**ねじ締付トルクについて**

本体取付用ねじ		ディスプレイ取付用ねじ	
ねじ種類	締付トルク (N・m)	ねじ種類	締付トルク (N・m)
M5×15	2.0	M4×18	1.0
M6×15	3.0	M5×20	1.8
		M6	2.8
		M8	7.9

## 組立要領

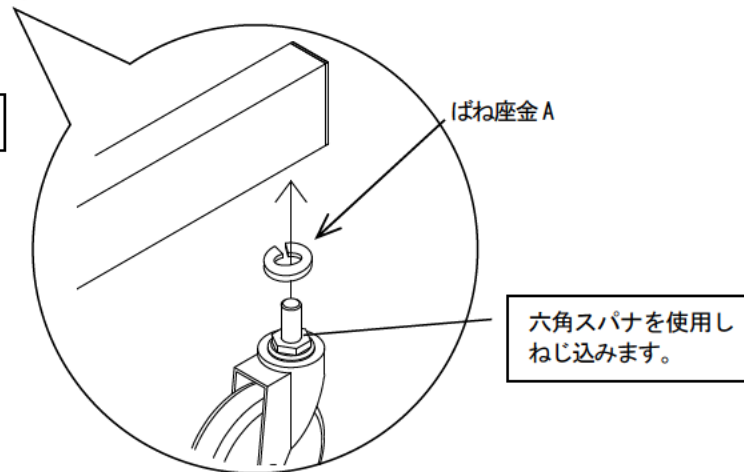
〔はじめに〕 部品には取付箇所、取付方向がきまっていますので、図および説明文をよく確認の上、組み立ててください。

### ● キャスターの取り付け

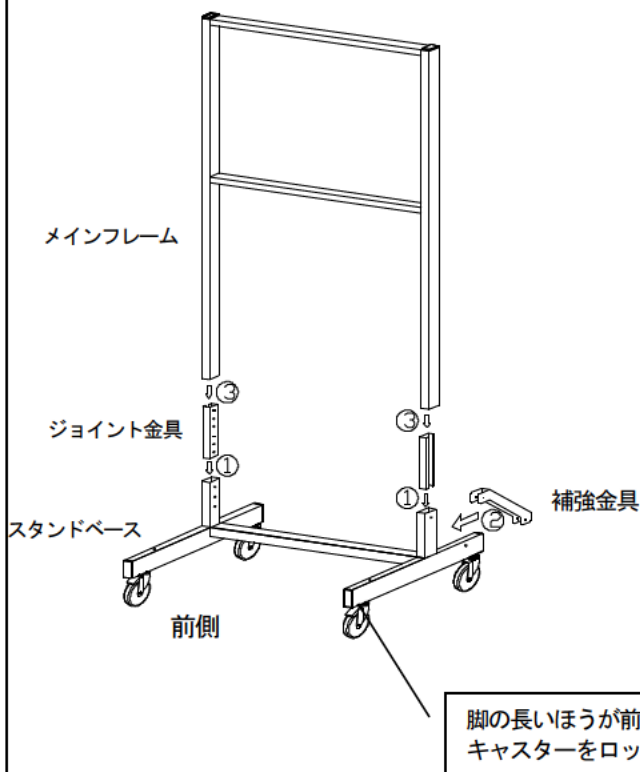


1. スタンドベースに付属の六角スパナを使いキャスターを取り付けます。取り付けの際には、スタンドベースとキャスターの間にばね座金 A (各 1 個) を入れてください。

前側にキャスター (ストッパー付) 各 2 個  
後側にキャスター (ストッパー無) 各 2 個



### ● メインフレームの取り付け



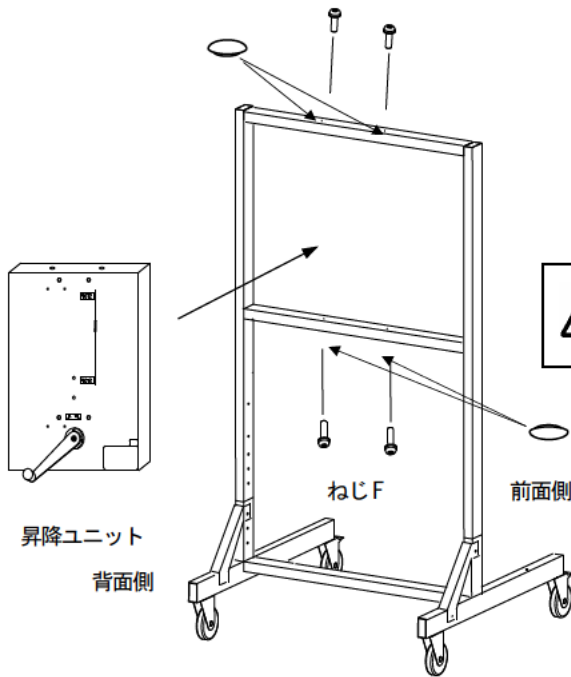
1. キャスターをロックし、  
①スタンドベースにジョイント金具を差し込み、  
②補強金具を後方にセットし、  
ねじ A で仮止めします。  
③メインフレームをジョイント金具に差し込み、  
ねじ A で仮止めします。
2. 仮止めしたねじ A を、プラスドライバーを使用し締め付けてください。



仮止めを行うと組み立てやすくなります。



## ● 昇降ユニットの取り付け

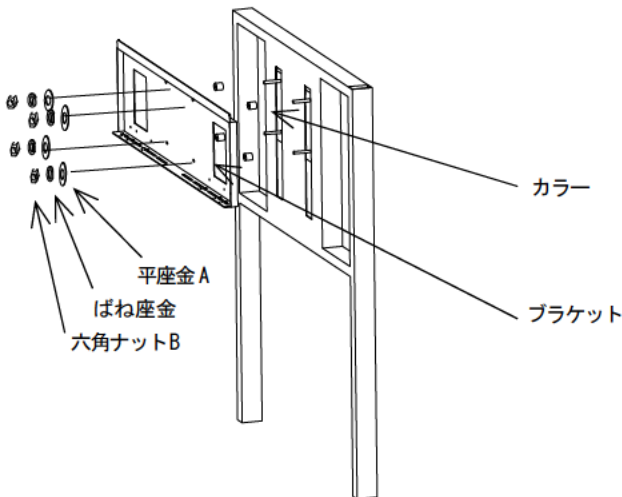


1. 昇降ユニットをメインフレームの内側に、ハンドルを背面側になるように、ねじ穴を合わせ仮置きします。
2. ねじFで昇降ユニットを取り付けます。
3. ねじ穴にねじ穴キャップ取り付けてください。



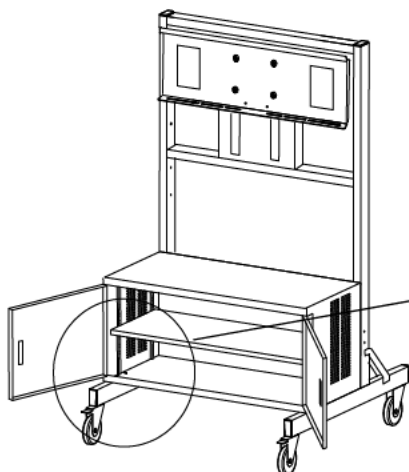
ねじFをパイプ内に落とし込まないように注意して取り付けてください。

## ● ブラケットの取り付け



1. 昇降ユニットの4本のボルトにカラーを差し込みます。
2. 左図のように、ブラケット・平座金A・ばね座金・六角ナットB (各4個) をスパナ(13番)で固定します。

## ● AVキャビネットの取り付け (オプション)

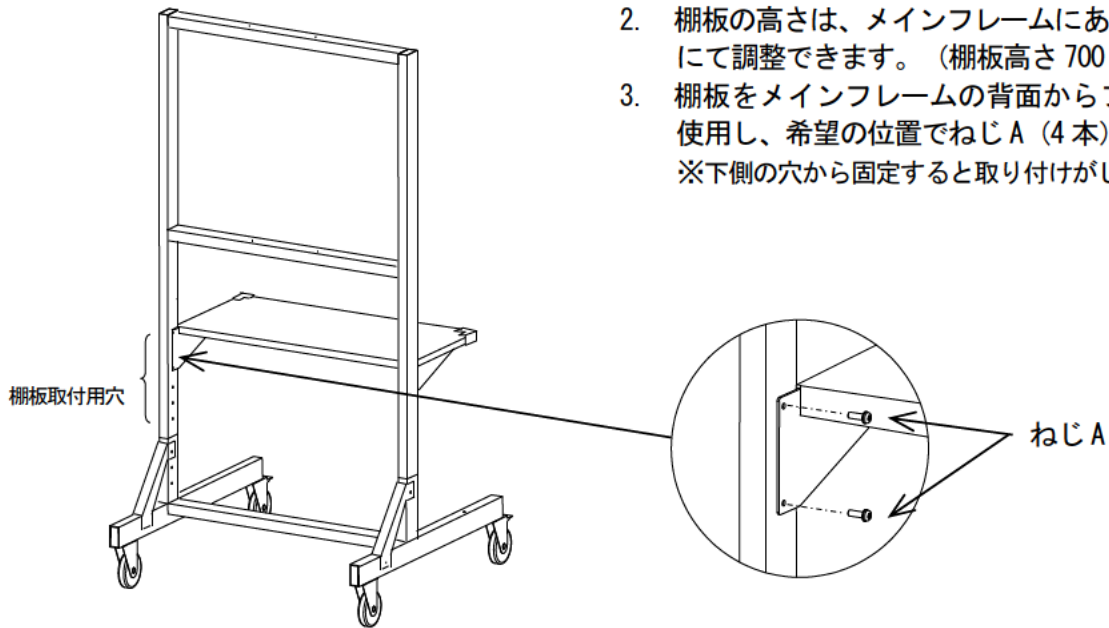


1. AVキャビネットをスタンドベースの脚の上に置きます。
2. 扉を開き、左図の位置にねじ(左右各1本)でAVキャビネットとスタンドベースを仮止めします。(手締め)
3. ねじを仮止め後、プラスドライバーを使用し締め付けてください。

AVキャビネット付属ねじ  
×2本

## ● 棚板の取り付け (オプション)

1. メインフレームの正面側から、棚板を差し込みます。
2. 棚板の高さは、メインフレームにある取り付け穴の位置にて調整できます。(棚板高さ 700・800・900)
3. 棚板をメインフレームの背面からプラスドライバーを使用し、希望の位置でねじ A (4本) にて固定します。  
※下側の穴から固定すると取り付けがしやすくなります。



- ※ ディスプレイサイズを確認のうえ、棚板の位置を決めてください。
- ※ 必ず二人以上の作業者で行ってください。

## ● ディスプレイ取付金具の取り付け・取り外し

ディスプレイ取付金具の取り付けの前にご確認ください。

### ⚠ 注意

1. ディスプレイ付属のスタンドが付いている場合は取り外してください。  
取り外し方法についてはディスプレイ取扱説明書をご参照ください。
2. ディスプレイによってはキャップが付いている場合がありますのでディスプレイ取扱説明書に従って取り外してください。
3. 搭載するディスプレイ機種によっては、ディスプレイを水平に寝かせてディスプレイ取付金具を取り付けできません。ディスプレイの取扱説明書にて必ずご確認ください。その際はディスプレイを垂直にしたまま組み立てをしてください。
4. Panasonic 製品の一部にはディスプレイ背面取り付け穴が凹んでいるものがあります。下図(図1)を参考にスペーサー(φ21×12 孔φ8)をご使用ください。
5. ディスプレイを取り付ける前に、ディスプレイ端子部が本製品と重ならないか御確認ください。重なっていると、配線が困難になりディスプレイのご使用ができなくなります。

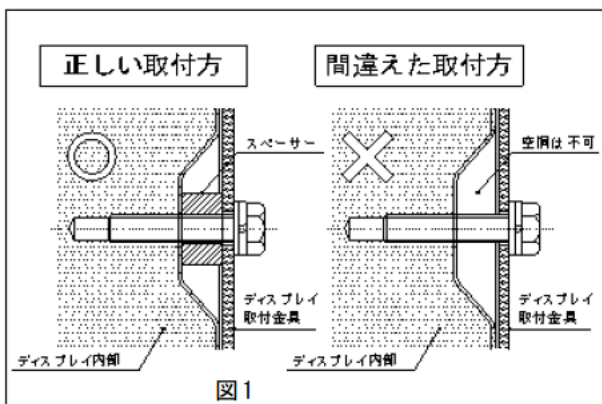


図1

### <ディスプレイ取付金具の取り付け>

1. カートンケース、毛布等の平らなクッション材の上にディスプレイ背面を表にして寝かせます。
2. ディスプレイ取付金具をディスプレイに取り付けます。ディスプレイの取扱説明書にて取り付けねじ径・深さを必ず確認し、ねじセットより対応するねじ類を用意します。使用するばね座金、平座金、補助板については下表を参照下さい。

使用ねじサイズ	使用座金類
M4	ばね座金(呼び径5)、補助板
M5	ばね座金(呼び径5)、補助板
M6	ばね座金(呼び径8)、補助板
M8	ばね座金(呼び径8)、平座金(呼び径8)

3. 左図のように、ねじ・ばね座金・補助板または平座金を通し、ねじを手締めにてディスプレイ背面の取り付け穴の最後まで締めます。

ねじ長さ調整の場合に必要なに応じて左図のようにナットを使用してください。

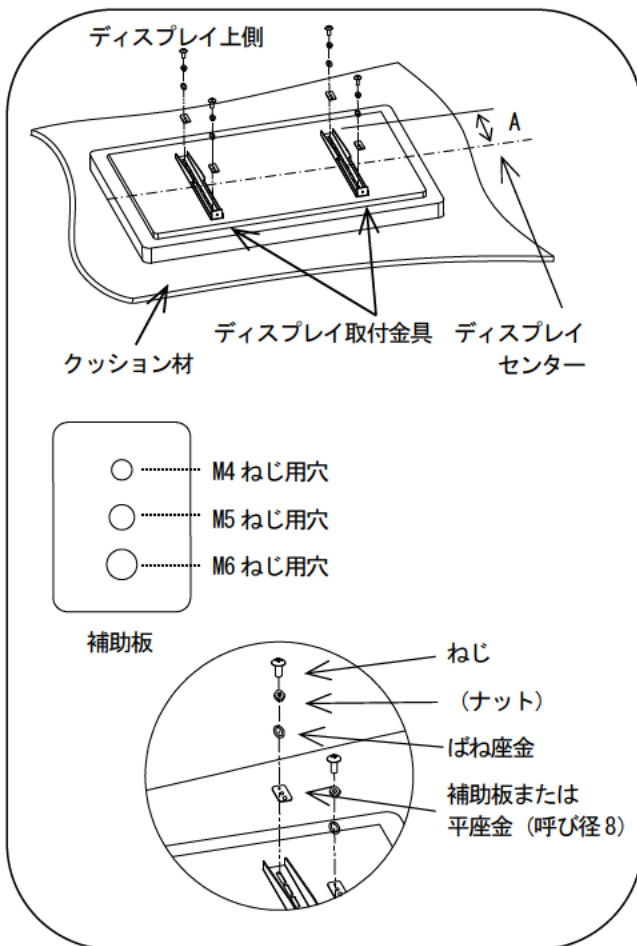
### ●推奨ディスプレイ高さ

左図 A 寸法=約 210mm となるようディスプレイ取付金具を固定⇒ディスプレイセンター位置が床から約 1420mm と最適になります。

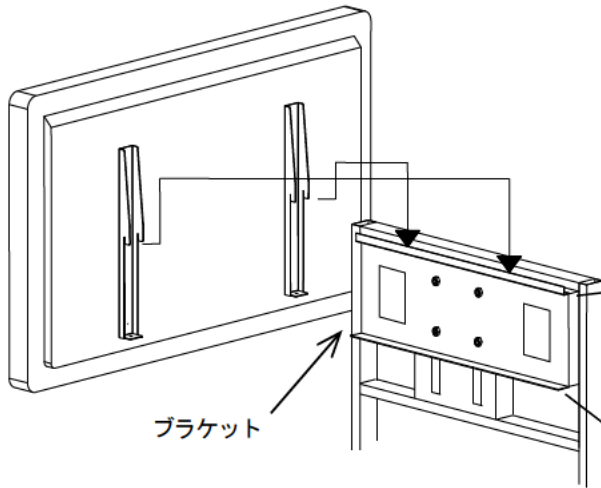
(※50 型でブラケット最上段の場合)

4. プラスドライバーでねじが回転しない程度に固定し、スパナにてナットを締め確実に固定します。ねじをドライバーで固定していないと、ナットとねじが共回りし、ディスプレイねじ穴破損の原因となります。

※ディスプレイ外形センターとディスプレイ画面センターは異なる場合があります。ディスプレイ設置の際は、ディスプレイ画面センター位置をご確認ください。



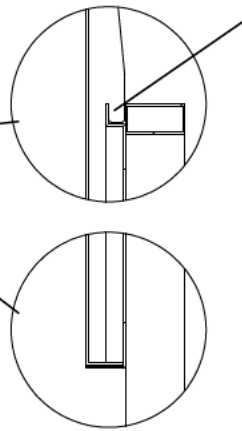
## ディスプレイの取り付け



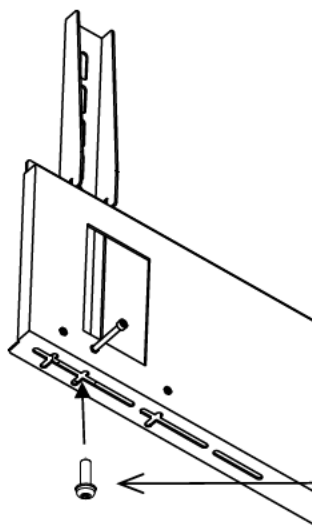
1. ディスプレイ取付金具を取り付けたディスプレイを二人以上の作業員で支え、メインフレームのブラケット上端にディスプレイ取付金具の溝を引っ掛けるようにして設置します。



ブラケット上端に確実に引っかかっていることを確認してください。



ブラケット

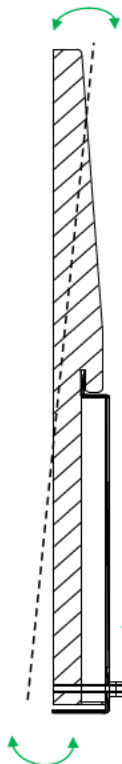


2. ブラケット下側からディスプレイ取付金具をプラスドライバーを使用し、ねじB (2本) にて固定します。



固定の際はディスプレイの下にもぐりこまないようにしてください。

## ● ディスプレイ角度調整

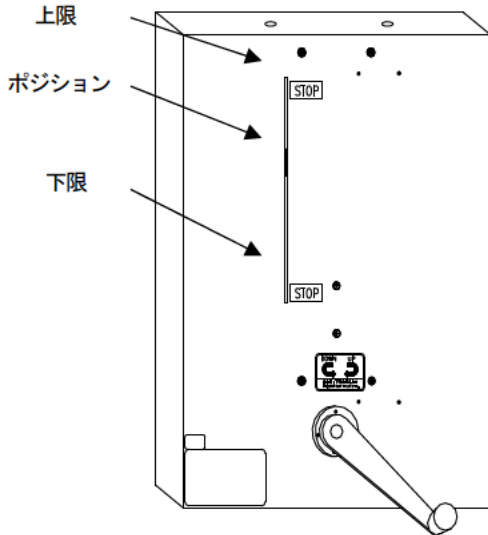


1. ディスプレイ取付金具の位置に合ったブラケットのねじ穴に、図のようにねじEとナットをセットします。
2. ねじEを時計回りに締め込むと取付金具が上向きに角度が調整出来ます。
3. 角度を調整したら、六角ナットAをしっかり締め込んでください。

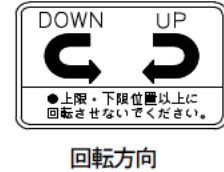
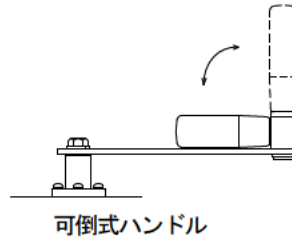


角度調整は、400、600、684ピッチの場合のみ調整が可能です。

● ディスプレイ高さ調整



1. ハンドルを時計回りに回すと上昇します。
2. ハンドルを反時計回りに回すと下降します。
3. 昇降範囲の上限と下限に STOP シールがあります。ハンドルを回すと赤いポジションが移動しますので、STOP シールの範囲内で昇降してください。
4. ハンドルは内側に倒すことができます。



## 保証書

### 品名 ディスプレイスタンド

お客様名： \_\_\_\_\_ お取扱店： \_\_\_\_\_  
 ご購入年月日： \_\_\_\_\_ 住所 / TEL： \_\_\_\_\_

<p><b>保証期間</b> ご購入の日より</p>	<p>本体 <b>1 年</b></p>
--------------------------------	----------------------

1. 保障期間内であっても次の場合は有償修理となります。
  - (1) この保証書のご提示がない場合。
  - (2) 保証書に、ご購入の年月日、お客様名、お取扱店名の記入がない場合、および保証書の字句を書き換えられた場合。
  - (3) ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。
  - (4) お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障および損傷。
  - (5) 火災や天災等による故障および損傷。
  - (6) 消耗品および付属品の交換の場合。
2. その他弊社が有償修理と判断した場合、実費を申し受けます。
  - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ取扱店名が記入されているかお確かめください。万一記入が無い場合は直ちに買い上げ取扱店にお申し出ください。
  - ※ この保証書は日本国内においてのみ有効です。  
Effective only Japan

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、取扱店または下記テクニカルサポートセンターまでお問い合わせください。

**製造販売元 株式会社 オーエスエム**  
**連絡先: 株式会社オーエス テクニカルサポートセンター**  
 〒557-0063 大阪市西成区南津守 6-5-53  
 TEL: 0120-465-040 FAX: 0120-380-496  
 (受付時間: 平日 9:00~17:50 ※土日祝祭日を除く)  
 E-mail: info@os-worldwide.com